

老後へのそなえ iDeCo（イデコ）

～メリットたくさん！「お得」な制度を上手に活用～

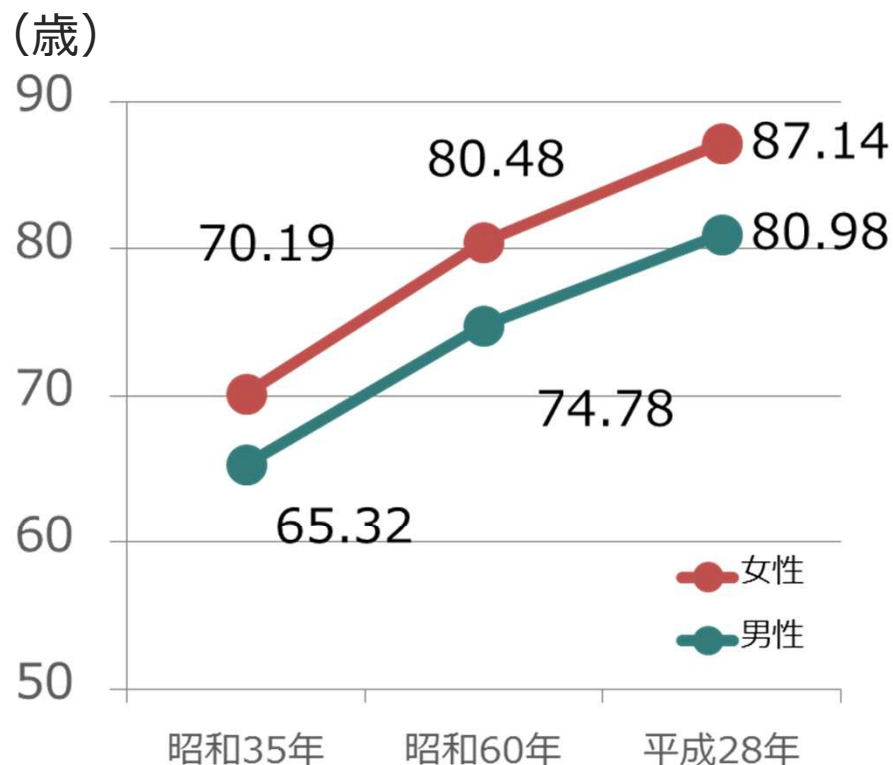
大和証券株式会社

Daiwa
Securities

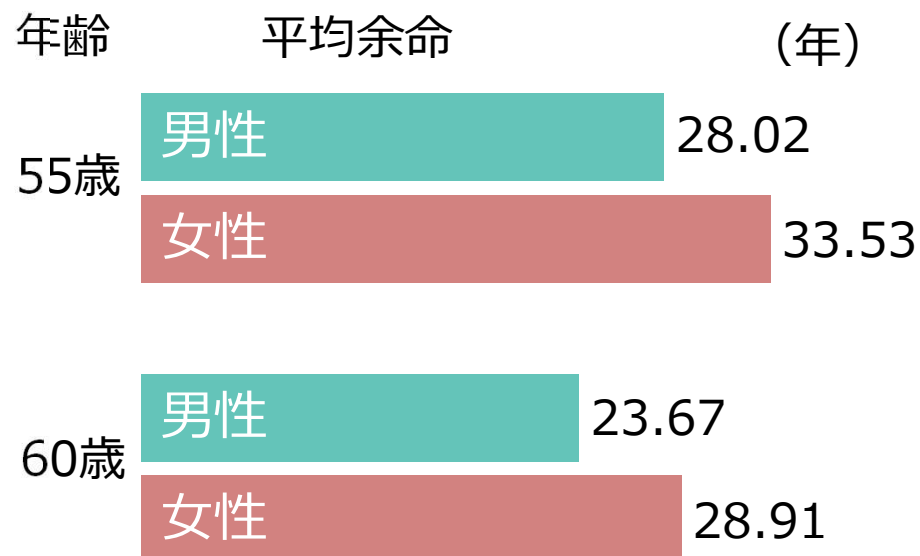
① 老後に必要なお金

① 長寿化の状況

日本人の平均寿命の推移



日本人の平均余命



1 老後の生活費の不足金額は？

- 老後に必要な夫婦2人（夫が会社員、妻は専業主婦を想定）の生活資金と老後の不足額を試算しました



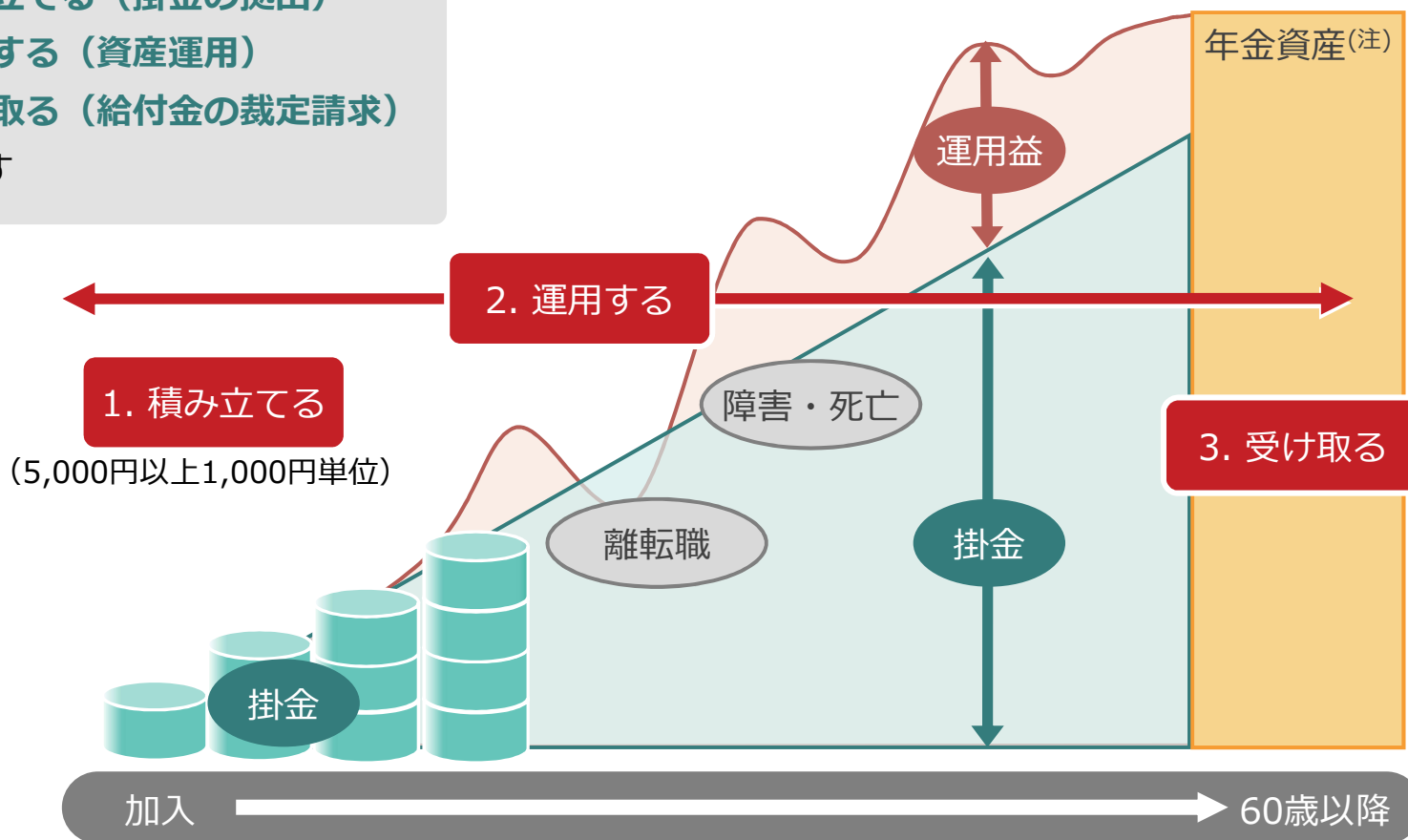
2 iDeCoのしくみ

2 iDeCoで行うこと

自分ですることは、

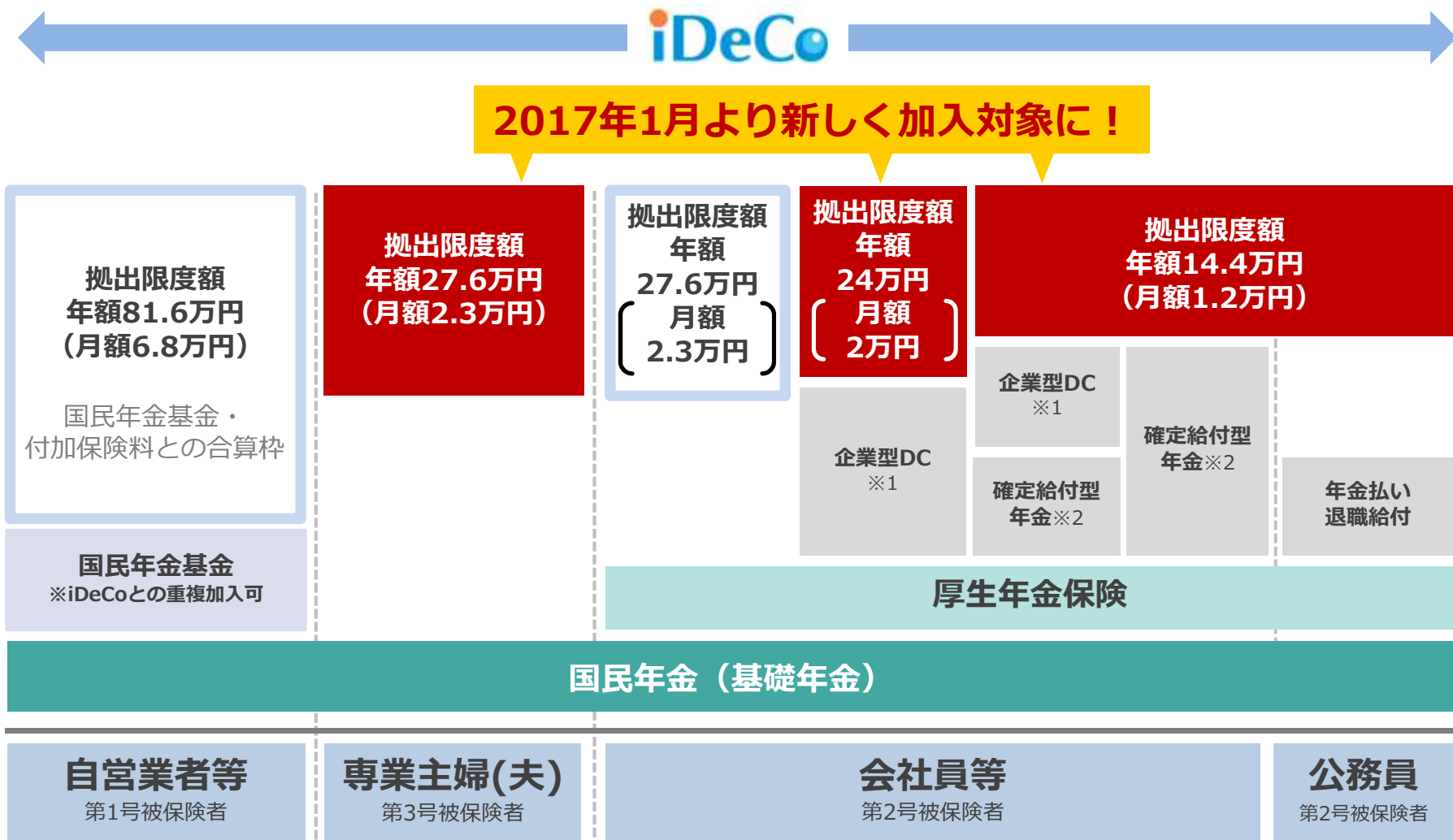
- ① 積み立てる（掛金の拠出）
- ② 運用する（資産運用）
- ③ 受け取る（給付金の裁定請求）

の3つです



(注) 受取時に損失が発生している場合、受取額が積立額より少なくなる場合があります

② 積み立てる金額は？～掛金の拠出限度額と加入対象者～



* 1 企業型DCの加入者は、企業型DC規約にiDeCoとの併用が認められている場合に限り、iDeCoへの加入が可能となります

* 2 確定給付型年金は、厚生年金基金、確定給付企業年金などを指します

2 掛金の年単位化について

- 確定拠出年金法の改正に伴い、2018年1月分の掛金よりその限度額を年単位で管理するというルールに変わりました。
- 年間の限度額に変更はありませんが、“毎月決まった金額を積み立てる”方法のほか、たとえば、“ボーナス月に少し多めに積み立てる”ことも可能となりました。

主な積立ニーズ

～2017年分掛金

2018年分掛金～

毎月コツコツ
一定金額を
積み立てたい！

毎月1万円ずつ
積み立てよう！

毎月の積立は続けながら、
ボーナス月は少し多めに
積み立てたい！

ボーナス月の
増額積み立てはNG！

年単位化により可能に！（※）

毎月1万円ずつ積み立てて、
ボーナス月は2万円ずつ
積み立てよう！

※別途、『加入者月額掛金額登録・変更届』を提出することが必要です。

3 iDeCoのメリット

3 iDeCo の税制メリット①

- iDeCoは、原則60歳になるまで資産を引き出すことができませんが、それを補う大きな税制優遇措置があります

メリット1 掛金全額所得控除

- iDeCoの掛金は、小規模企業共済等掛金控除として全額が所得控除（※）されます

所得控除による年間の税制メリット

イメージ

【課税所得300万円の方がiDeCoに加入し、毎月定額払いにて上限額まで拠出した場合】

課税所得金額	税率 (所得税・住民税)	月額掛金		
		自営業	会社員	公務員
		68,000円	23,000円	12,000円
		税制メリット額（年額、千円未満切り捨て）		
195万円以下	15.105%	12.3万円	4.1万円	2.1万円
195万円超～330万円以下	20.210%	16.4万円	5.5万円	2.9万円
330万円超～695万円以下	30.420%	24.8万円	8.3万円	4.3万円
695万円超～900万円以下	33.483%	27.3万円	9.2万円	4.8万円

注：概算値のため、実際の金額とは異なりますので十分にご注意ください。

（※）掛金が全額所得控除されるのは所得のある方が対象。専業主婦(夫)や育児・介護休暇などを取得していて年間を通じて所得がない方は、掛金を拠出してても所得控除が受けられません。

3 iDeCo の税制メリット①

- 所得控除の手続きは、「確定申告」と「年末調整」の2種類があります。
なお、いずれの手続きでも小規模企業共済等掛金控除として所得控除されます。

積立方法 (掛金の拠出方法)	個人払込	事業主払込
概要	加入者が個人で払い込み	加入者の給与から控除して 事業主が払い込み
引落銀行口座	本人名義口座	事業主名義口座
払込証明	小規模企業共済等掛金払込証明書 (個人宛に発行)	個人型掛金引落結果通知書 (事業主宛に発行)
手続き	確定申告 または 年末調整 (※)	年末調整
所得控除の種類	小規模企業共済等掛金控除	

(※) 第2号被保険者の場合、小規模企業共済等掛金払込証明書を事業主に提出することにより、年末調整を行うことも可能です。

3 iDeCo の税制メリット②

メリット2 運用益非課税

- 一般的な資産運用の運用益は課税されますが、**iDeCoの運用益は非課税**です
- 受取時まで**複利で運用**していきますので、期間が長いほど大きなメリットとなります

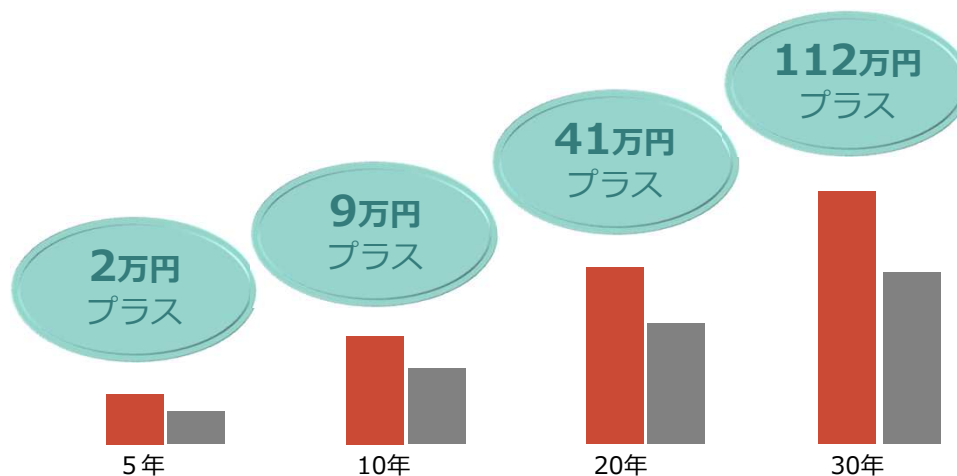
資産額の推移

イメージ

【毎月2万円を拠出し、年率3%で運用した場合】

試算条件

- 運用利回り 3.0%（年率）
- 月々の掛金 2万円
- 一般的な金融商品の場合は
- 運用益に20.315%課税
- 金額は概算値



	5年	10年	20年	30年
iDeCoで運用	129万円	279万円	655万円	1,160万円
一般的な運用	127万円	270万円	614万円	1,048万円

③ iDeCo の税制メリット③

メリット3 受取時も税制優遇あり

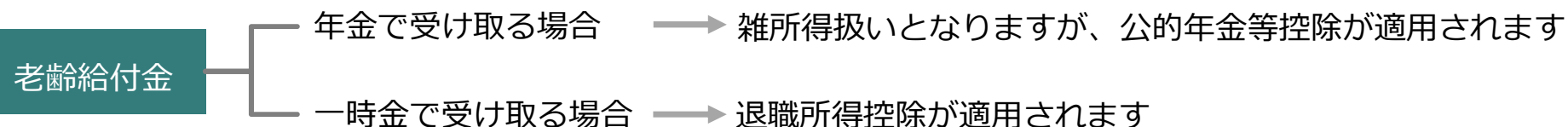
- 60歳到達後に受け取る際、**年金**として受け取る場合は「**公的年金等控除**」、**一時金**として受け取る場合は「**退職所得控除**」という控除が受けられます

【年金で受け取る場合】

- 公的年金等控除が適用され、他の所得と合算して総合課税の対象となります

【一時金で受け取る場合】

- 退職所得控除が適用され、他の所得と分離して課税されます



障害給付金 ——— 所得税、住民税は課税されません

死亡一時金 ——— 所得税、住民税は課税されません。みなし相続財産として相続税の課税対象となります（法定相続人一人当たり500万円まで非課税枠があります）

3 考慮すべき点

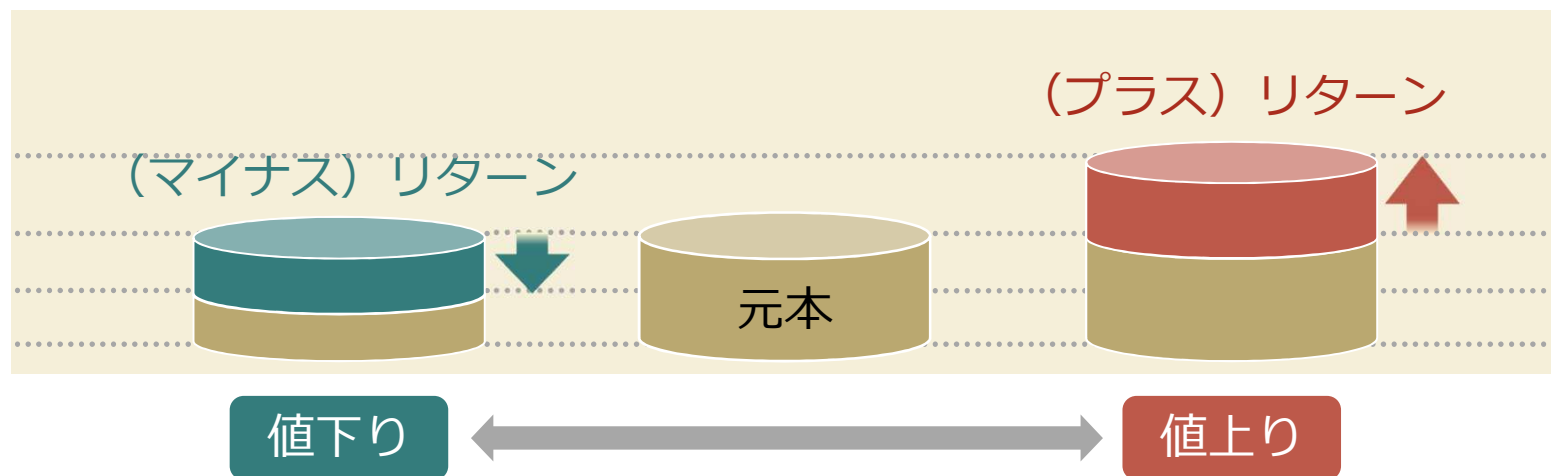
- 1 iDeCoは、原則60 歳まで資産を引き出すことができません
- 2 資産の運用は加入者ご自身が行い、受け取る額は運用成績により変動します
(元本を保証する運用商品もあります)
- 3 拠出できる掛金には上限があります
- 4 iDeCo加入時には初回登録手数料がかかり、別途口座管理手数料がかかります
- 5 給付時には支払いごとに手数料がかかります
- 6 現在は凍結中ですが、特別法人税*がかかります
- 7 同時に二つ以上のiDeCoプランに加入することはできません
(運営管理機関を途中で変更することは可能です)
- 8 課税所得がない方（専業主婦等）は、拠出時の所得控除を受けることができません
- 9 60歳までの通算加入者等期間が10年に満たない方は、最長で65歳からの受け取りとなります（59歳11か月までしか拠出できません）

通算加入者等 期間	10年以上	8年以上 10年未満	6年以上 8年未満	4年以上 6年未満	2年以上 4年未満	1ヶ月以上 2年未満
受給開始年齢	60歳から	61歳から	62歳から	63歳から	64歳から	65歳から

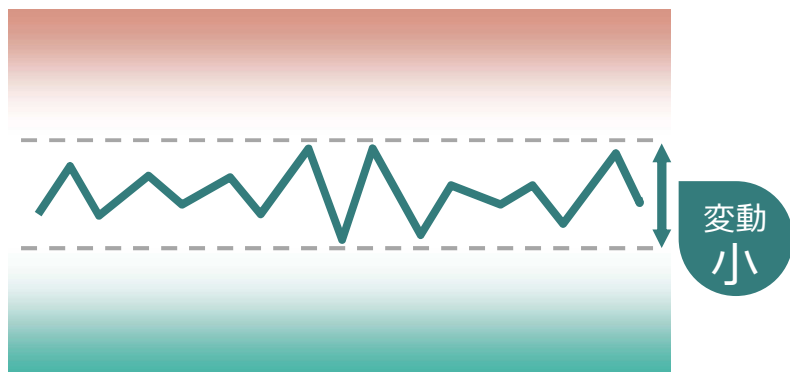
* 企業年金の資産に対して課税される法人税。税率は法人住民税と合わせて1.173%であり現在は凍結中。凍結が解除された場合には、資産額に応じて課税される可能性があります。（確定拠出年金は特別法人税が課税されたことはありません。）

4 年金資産の運用について

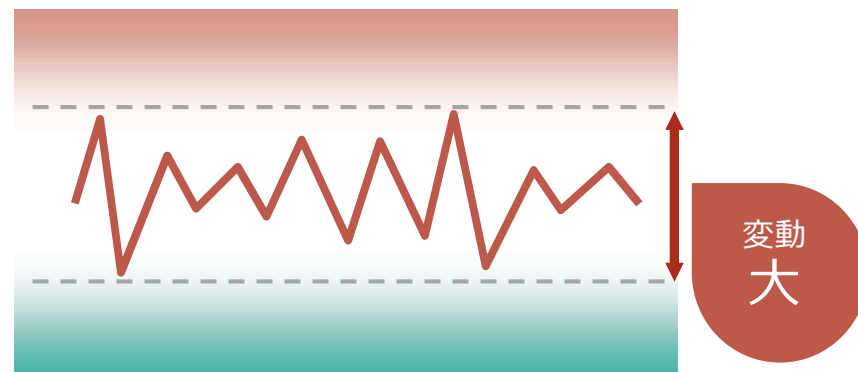
④ リターンとリスク



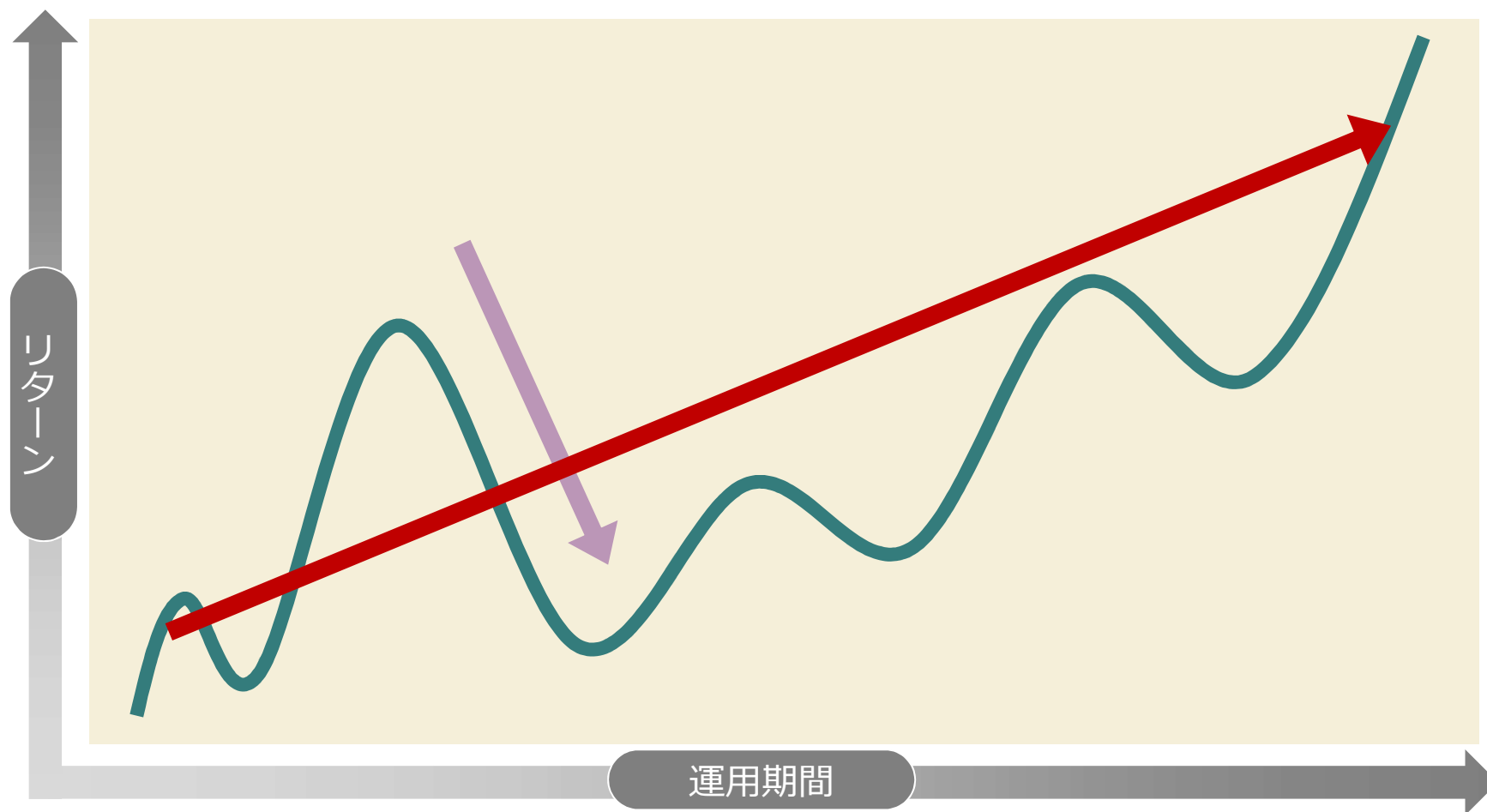
変動幅が小さい = リスク小



変動幅が大きい = リスク大



④ リスクの軽減（長期投資）



④ リスクの軽減（積立投資／時間分散）

ドル・コスト平均法

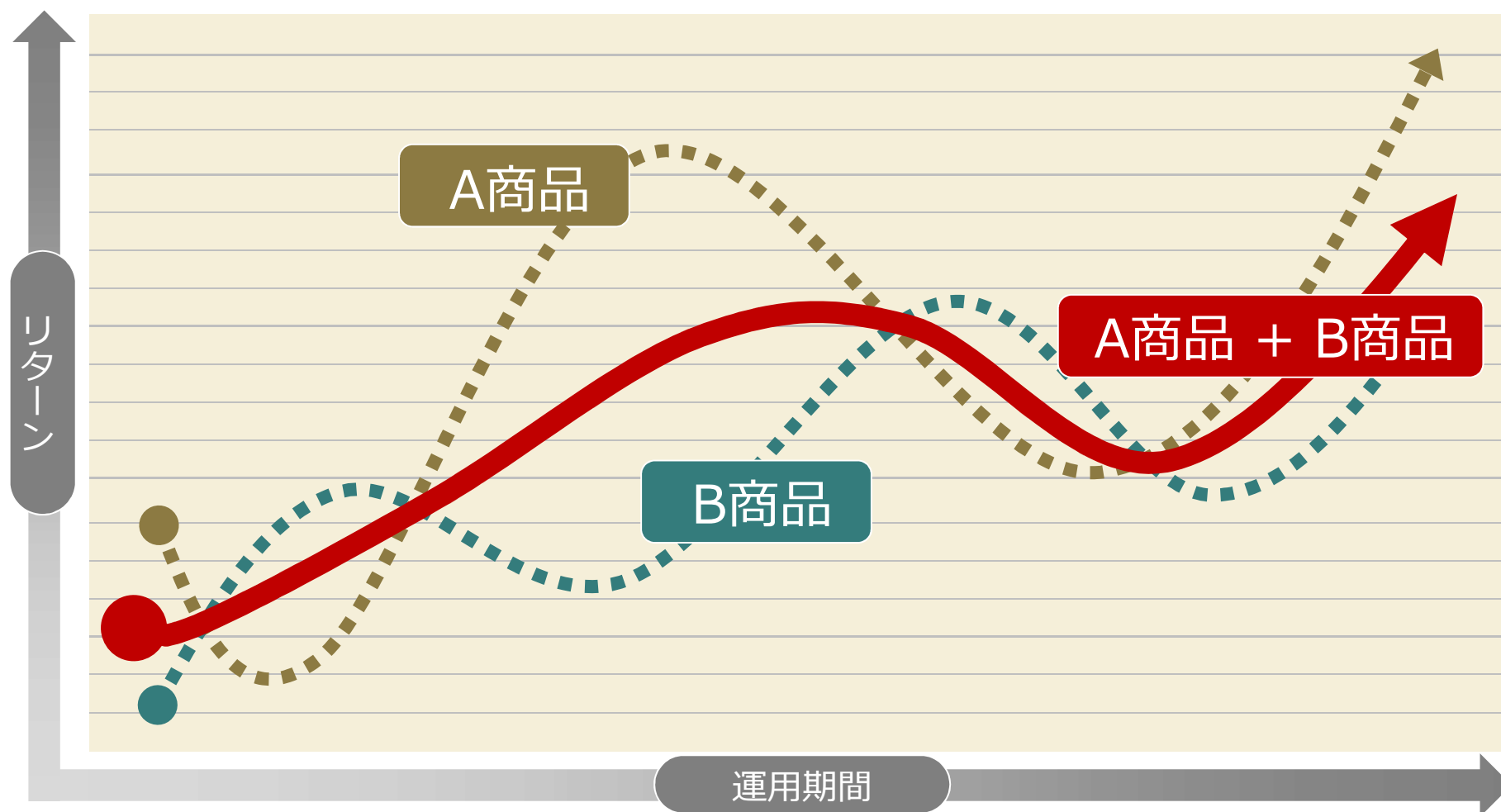
イメージ

Aさん（毎月5万円ずつ投資、8か月合計40万円）とBさん（40万円を一度に投資）の比較

一口当たりの価格		1カ月目	2カ月目	3カ月目	4カ月目	5カ月目	6カ月目	7カ月目	8カ月目	購入 口数	8 カ月目 時点の 時価評価 (平均取得単価)
		10,000円	8,500円	7,000円	13,000円	10,000円	8,000円	9,000円	12,000円		
A さん	投資金額	5万円	5万円	5万円	5万円	5万円	5万円	5万円	5万円	42.8口	51.4万円 (9,334円)
	取得数量	5口	5.9口	7.1口	3.8口	5口	6.3口	5.6口	4.2口		
B さん	投資金額	40万円								40口	48万円 (10,000円)
	取得数量	40口									

* 当事例は手数料等を考慮していない仮定の数値であり、また将来の投資結果を予測・保証するものではありません。

④ リスクの軽減（分散投資／資産分散）



5 「ダイワのiDeCo」のご案内



無条件で、運営管理機関手数料が0円

2018年10月現在・税込

「ダイワのiDeCo」では、初期手数料および定期的な手数料に関して、運営管理機関（大和証券）にお支払いいただく手数料が**「無条件で、だれでも、0円」**です。

■ 初期手数料※1

対象者	手数料	徴収方法等
加入申込者 移換申込者	2,777円	国民年金基金連合会の事務費用。 新規加入の場合は初回掛金から、移換の場合は移換資産から徴収。

※1：運営管理機関の変更をする方（すでに利用している他社のiDeCoを「ダイワのiDeCo」へ変更する場合）は初期手数料はかかりません。

「無条件で、だれでも、0円」

■ 定期的な手数料

対象者	手数料	内 訳		
		国民年金 基金連合会※2	運営管理機関 （大和証券）	事務委託先 金融機関※3
加入者（掛金を拠出する場合）	月額 167円	103円	0円	64円
運用指図者（掛金を拠出しない場合）	月額 64円	—		64円

※2：掛金収納に係る手数料のため、掛金の引き落としのある月に掛金からひと月あたりの手数料が差し引かれます。
（ただし、毎月定額払いの場合で、毎月15日以前に加入申込書を受付した場合には、初回引落時に2ヶ月分の手数料が差し引かれます。）
※3：個人別管理資産の管理に係る手数料のため、掛金の引き落としのある月には掛金から、ない月には個人別管理資産からそれぞれ差し引かれます。

■ 都度手数料

対象者	手数料	徴収方法等
還付を受ける方	1,461円	掛金の還付（加入資格が無かった場合等）を受ける際の手数料※4。 通常はかかりません。
給付を受ける方	432円	老齢給付金等の受取の際、支払ごとに給付金額より差し引かれます。
他社に移換する方	4,320円	他社のiDeCoに変更する際や他の確定拠出年金へ移換する際、 資産から差し引かれます。

※4：国民年金基金連合会1,029円、事務委託先金融機関432円

5 ダイワならではの商品ラインアップ



ダイワならではの商品ラインアップ

「ダイワのiDeCo」は、投資の三大原則である「長期・積立・分散」の特性を活用して、老後の資産形成のため、初心者から投資経験者に至るまで、幅広いニーズにお応えする商品をラインアップしました。

商品ラインアップのポイント

- 投資対象を先進国の株式・債券とする投資信託に加え、REIT（不動産投資信託）や新興国の株式を対象とするものも加えることで、国際的な「資産分散」が可能。
- 売買手数料0円、信託財産留保額0円とし、「運用管理費用（信託報酬）が低水準な投資信託」を中心に構成することで、「長期投資」における運用コスト低減も可能。

運用方法	投資対象	商品名	運用会社	運用管理 費用（税込）
【初心者向けラインアップ】あらかじめ定められた資産配分で分散投資とメンテナンスを行う運用商品				
バランス	国内外/株式・債券・REIT	DCダイワ・ワールドアセット（六つの国/安定コース）	大和証券投資信託委託	0.97200%
バランス	国内外/株式・債券・REIT	DCダイワ・ワールドアセット（六つの国/6分散コース）	大和証券投資信託委託	1.13400%
バランス	国内外/株式・債券・REIT	DCダイワ・ワールドアセット（六つの国/成長コース）	大和証券投資信託委託	1.29600%
【中級者向けラインアップ】ご自身で投資対象や運用比率を決め分散投資やメンテナンスを行う運用商品				
インデックス	国内/株式	DCダイワ日本株式インデックス	大和証券投資信託委託	0.27000%
インデックス	国内/債券	DCダイワ日本債券インデックス	大和証券投資信託委託	0.27000%
インデックス	海外/株式	DCダイワ外国株式インデックス	大和証券投資信託委託	0.27000%
インデックス	海外/債券	DCダイワ外国債券インデックス	大和証券投資信託委託	0.24840%
インデックス	国内/株式	ダイワつみたてインデックス日本株式	大和証券投資信託委託	0.19440%
インデックス	国内/債券	ダイワつみたてインデックス日本債券	大和証券投資信託委託	0.16200%
インデックス	海外/株式	ダイワつみたてインデックス外国株式	大和証券投資信託委託	0.22140%
インデックス	海外/債券	ダイワつみたてインデックス外国債券	大和証券投資信託委託	0.21060%
インデックス	国内/REIT	DC・ダイワJ-REITオープン	大和証券投資信託委託	0.59400%
インデックス	海外/REIT	DCダイワ・グローバルREITインデックスファンド	大和証券投資信託委託	0.57240%
【上級者向けラインアップ】「市場全体を上回る」・「特定の地域に投資する」ための運用商品				
アクティブ	国内/株式	フィデリティ・日本成長株・ファンド	フィデリティ投信	1.65240%
アクティブ	国内外/株式	ひふみ年金	レオス・キャピタルワークス	0.82080%
アクティブ	海外/株式	大和住銀DC外国株式ファンド	大和住銀投資顧問	1.96560%
アクティブ	海外/株式	ダイワ国際選株ファンド・イーグルアイ・Bコース（海軍ヘッジなし）	大和証券投資信託委託	1.86840%
アクティブ	海外/株式	UBS 中国株式ファンド	UBSアセット・マネジメント	1.80576%
アクティブ	海外/株式	ブラックロック・インド株ファンド	ブラックロック・ジャパン	1.93320%
アクティブ	海外/株式	ダイワ・ロシア株ファンド	大和証券投資信託委託	1.81440%
アクティブ	海外/株式	ダイワ・ブラジル株ファンド	大和証券投資信託委託	1.81440%
投資元本を確保するための商品				
元本確保型商品	定期預金	あおぞらDC定期（1年）	あおぞら銀行	

7
ページ

8
ページ

9
ページ

7
ページ

5 ダイワならではの商品ラインアップ

■「ダイワのiDeCo」で分散投資！

初心者の方



今まで投資をしたことがなく、
どの商品で運用したらいいか分からない・・・

初心者の方でも、プロにお任せで安心！

- 専門家に分散投資とメンテナンスを任せるバランス・ファンドをご用意しています。
- 元本確保型商品もご用意しています。

中級者の方



自分で決めて分散投資をやってみたい！

ご自身でアレンジして運用できる！

- マーケットの動きに連動するインデックス・ファンドをご用意しています。
- ご自身に合わせた分散投資が可能です。

上級者の方



今までの経験をいかして運用したい！

オリジナルの投資スタイルが選べる！

- マーケットの動きを上回る運用成果を目指すアクティブ・ファンドをご用意しています。
- 投資対象や投資地域に特徴がありますので、独自の運用が可能です。

5 分かりやすい動画コンテンツ



分かりやすい動画コンテンツ

大和証券では、iDeCoの情報を集約した「ダイワのiDeCo」サイトをご用意しています。同サイトでは、「いつでも」「どこでも」「だれでも」をコンセプトに、iDeCoを分かりやすく解説する動画コンテンツを配信しています。今後もコンテンツを充実し、お客さまの資産運用をサポートします。



WEB動画例



■〈iDeCo〉お申し込み書類の書き方



■老後へのそなえ iDeCo(イデコ)
～メリットたくさん!「お得」な制度を上手に活用～

5 他にも特長！「ダイワのiDeCoサイト」

他にも特長！「ダイワのiDeCo」サイトのサービス

「ダイワのiDeCo」ではお客さまの様々なお悩みを解決するため、「ダイワのiDeCo」サイトにて、以下のようなサービスもご用意しています。

老後のそなえて、
どれくらい必要な？

「LINEでねんきん定期便試算」でご確認ください。

毎年お誕生月に届く「ねんきん定期便」を元に、ご自身の将来の必要額を試算することが可能です！

※右のQRコードから、LINEにて友だち登録していただき、ご利用ください。→



自分の税制メリットは
どれくらいの金額かな？

「つみたてシミュレーション～税制メリット版～」でご確認ください。

収入金額や家族構成をもとに、皆さまそれぞれの税制メリット額を試算することが可能です！

投資は初めてだけど、
商品をどうやって決めたら
いいのかな？

「iDeCo投資スタイル・ナビ」でご確認ください。

6つのかんたんな質問への回答で参考になる資産配分※を紹介しています！

※ひとつの例として、ご参考になしてください。

iDeCoを始めてみよう！
でも、気になる点を
スッキリできるかな？

「iDeCoのQ&A」でご確認ください。

制度の解説や、加入前のご質問、具体的な申込手続きなどのよくあるご質問についてまとめてご紹介しています！

さあ、iDeCoを
始めてみましょう！

「ダイワのiDeCoサイト」で、簡単に資料請求！

<http://dc.daiwa.jp/ideco/>



6 他の税制優遇制度との比較

6 他の税制優遇制度との比較

		iDeCo	NISA	つみたてNISA	個人年金保険
年間限度額		上限14.4万円 ～81.6万円	120万円	40万円	 制限なし (但し商品による)
税制 メリット	掛金	 全額 所得控除	—	—	 一部、 所得控除
	運用	 運用益 非課税	 運用益 非課税 (5年間)	 運用益 非課税 (20年間)	—
	受取	公的年金等控除 退職所得控除	—	—	雑所得課税 一時所得課税
運用の 選択肢	元本 確保型				—
	リスク型				—
途中引出し		 原則60歳 まで不可			 解約返戻 条件に注意

ご注意

- 1 本資料は作成日時点における確定拠出年金法および関連する法令諸規則等に基づいて作成しておりますが、今後法改正の動向等により内容に変更が生じる可能性がありますのでご了承ください。
- 2 内容に関する一切の権利は大和証券にあります。事前の了承なく複製または転送等を行わないようお願いします。

作成日：2017年12月

（法改正部分等につき2018年5月修正）

（運用商品追加につき2018年10月修正）